岩手県立埋蔵文化財センター所報（No. 135）
平成 29 年 2 月 28 日　発行

わらびて

135号

国見山廃寺本堂を再現した空間展示

銅龍頭（実物）国指定重要文化財

特集
埋蔵文化財を見に行こう!!
～今年度オープンした博物館の紹介～

平成 28 年 9 月にリニューアルオープンした北上市立博物館。その展示室中央、国見山廃寺のコーナーでは、発掘調査で確認された礎石配置や須弥壇（仏像を乗せる台）跡の石組みなどを元に約 1000 年前の本堂空間が再現され、半丈六（坐像で約 1.2 m）の如来像に復元されたパネル頭部には、須弥壇周辺から出土した土製螺髪（らほつ）（仏像の渦巻状の髪）が展示されています。

発掘調査で判明した建物跡や、遺物の出土状況を元に配置された展示。平安時代の国見山廃寺本堂に居るかのような疑似体験は、当時の仏教文化の世界に想像をかき立てられます。

埋蔵文化財によって、遺跡や歴史をどう伝えるか…博物館の展示を特集しました。

（４～５頁に関連記事）

主な内容

▶ 平成 28 年度の成果
（公財）岩手県埋蔵文化財センター
▶ 平成 28 年度に注目された遺跡
▶ 特集
埋蔵文化財を見に行こう !!
▶ 平成 28 年度のイベント報告

【所報名について】「わらびて」は**蕨手刀（わらびてとう）**に由来しています。 蕨手刀は、奈良～平安時代初期に使われた鉄製の刀で柄頭が早蕨（さわらび）の芽を巻いた状態に似ていることからこう呼ばれます。群集墳などから出土し、東北地方、特に岩手県で多く出土しています。

公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

平成28年度　発掘調査の成果

今年度は県内６市４町２村の 31 遺跡、発掘調査面積で約 139,000 ㎡の調査を実施しました。発掘調査の９割以上は、復興道路・復興支援道路建設を中心とした東日本大震災復興関連の事業に伴うもので、調査した遺跡は縄文時代から中世まで各時代にわたっています。

縄文時代　前期と中期の集落

久慈市の芦ヶ沢Ⅰ遺跡では、大型住居を含む前期前葉の集落跡が見つかり、竪穴住居跡は十和田中掫火山灰（5,500 年前）で覆われていました。洋野町の小田ノ沢遺跡では、海を望む緩やかな尾根に立地する前期の集落跡が見つかりました。中期の集落跡は今年度も沿岸部の多くの遺跡で調査が行われ、宮古市高根遺跡では、3 年間の調査で発見された大型貯蔵穴は 500 基以上になりました。大船渡市長谷堂貝塚では、中期の住居跡をはじめ配石遺構・炉跡・貝層等が発見され、動物や魚の骨、貝殻等が出土しました。

弥生時代　野田村周辺の集落

調査事例の少なかった野田村・普代村で弥生中期を中心とする時期の遺構・遺物が発見されました。特に、野田村上代川遺跡では、30 棟の竪穴住居跡や土坑等が見つかり、長い期間集落が営まれていたことが分かりました。

古　代　拠点的集落と鉄生産遺跡

宮古市の田鎖車堂前遺跡と隣接の田鎖館跡で、200 棟に及ぶ奈良～平安前期の竪穴住居跡が見つかりました。須恵器や金属製品等も豊富で、地域の拠点的集落であることが分かりました。

野田村の上代川遺跡では、古代末～中世と推定される製鉄炉を伴う工房跡 6 棟、木炭焼成遺構 40 基、排滓場 2 ヶ所が見つかりました。製鉄炉の作り替え、大量の鉄滓や羽口等の出土から、継続的な鉄生産が行われていたことが分かりました。古代の鉄生産遺構は沿岸中部の高根遺跡・青猿Ⅰ遺跡・浜川目沢田Ⅱ遺跡等でも見つかりました。

12 世紀の堀跡（田鎖車堂前遺跡）

12世紀　明確になってきた堀の性格

田鎖車堂前遺跡では、昨年度に引き続き堀跡の調査を行い、堀の内側と外側の様子を垣間見ることができました。堀跡からは土塁の痕跡や堀の内と外を繋ぐ土橋、堀の内側からは掘立柱建物跡や竪穴建物跡、井戸跡が見つかりました。

中　世　沿岸部の城館跡

気仙川沿いの住田町世田米城跡では、腰曲輪と犬走り状の平場を確認しました。宮古市の千徳城遺跡群では、千徳城に関連するお墓や竪穴建物跡が見つかりました。

（(公財) 岩手県埋蔵文化財センター　鎌田 勉）

平成28年度　埋蔵文化財センターの発掘調査遺跡一覧

No.	遺跡名	所在地	調査面積(㎡)	調査期間	事　業　名	主な時代	調査成果
1	北ノ沢Ⅰ遺跡	洋野町	350	10/31 ～ 12/20	三陸沿岸道路建設事業	縄文	焼土遺構 1、土器捨て場 1、土器埋設遺構 6、遺物包含層 2
2	北鹿糠遺跡	洋野町	3,600	10/3 ～ 12/7	三陸沿岸道路建設事業	縄文	竪穴住居 1、陥し穴 11、土坑 2、焼土遺構 3
3	宿戸遺跡	洋野町	10,200	4/6 ～ 7/22	三陸沿岸道路建設事業	縄文	竪穴住居 3、陥し穴 1、土坑 23、遺物包含層 1
4	小田ノ沢遺跡	洋野町	3,900	7/25 ～ 10/27	三陸沿岸道路建設事業	縄文	竪穴住居 14、土坑 60、柱穴状土坑 8
5	サンニヤⅠ遺跡	洋野町	4,400	7/4 ～ 10/1	三陸沿岸道路建設事業	縄文	竪穴住居 4、陥し穴 27、土坑 2
6	サンニヤⅢ遺跡	洋野町	14,000	9/15 ～ 12/16	三陸沿岸道路建設事業	縄文	土坑 4、陥し穴 39、焼土遺構 2、炭窯 2
7	八森遺跡	洋野町	920	10/31 ～ 12/5	国道 45 号種市登坂車線整備事業	古代	竪穴住居 1
8	芦ヶ沢Ⅰ遺跡	久慈市	7,000	4/6 ～ 9/8	三陸沿岸道路建設事業	縄文	竪穴住居 10、住居状遺構 2、土坑 3、陥し穴 71、焼土遺構 14、柱穴状土坑 2
9	芦ヶ沢Ⅱ遺跡	久慈市	4,250	4/6 ～ 9/8	三陸沿岸道路建設事業	縄文・古代	炭窯 2
10	上代川遺跡	野田村	8,000	4/6 ～ 12/8	三陸沿岸道路建設事業	縄文・弥生・古代	縄文：土坑 11、遺物包含層 1　弥生：竪穴住居 30、土器埋設遺構 2、土坑 19、焼土遺構 34、遺物包含層 1　奈良：竪穴住居 2　古代～中世：製鉄炉 6 鍛冶炉 2、排滓場 2、炭窯 41、溝 1
11	長途遺跡	普代村	2,800	9/16 ～ 12/8	三陸沿岸道路建設事業	縄文・弥生	縄文：竪穴住居 4、土坑 4、陥し穴 8、遺物包含層 1、焼土遺構 7　弥生：竪穴住居 1
12	力持遺跡	普代村	130	9/1 ～ 10/1	三陸沿岸道路建設事業	縄文	竪穴住居 1、柱穴状土坑 4
13	根井沢穴田Ⅳ遺跡	宮古市	900	10/18 ～ 12/20	三陸沿岸道路建設事業	縄文・弥生	竪穴住居 5、陥し穴 9 時期不明：土坑 83、焼土 2
14	沼里遺跡	宮古市	3,800	9/5 ～ 11/25	三陸沿岸道路建設事業	縄文・古代	縄文：竪穴住居 1 古代：竪穴住居 8 時期不明：炭窯跡 3、焼土遺構 11
15	高根遺跡	宮古市	2,300	4/7 ～ 10/17	三陸沿岸道路建設事業	縄文・古代	縄文時代：竪穴住居跡 49、土坑 183 時期不明：製鉄炉跡 2
16	青猿Ⅰ遺跡	宮古市	2,100	4/7 ～ 7/22	三陸沿岸道路建設事業	古代	古代：竪穴住居跡 7、工房跡 6、土坑 57、炭窯 2
17	千徳城遺跡群	宮古市	3,200	7/25 ～ 11/18	三陸沿岸道路建設事業	古代・中世	古代：竪穴住居 7、工房 1、炭窯 3、土坑 2 中世：竪穴建物 2、墓壙 5
18	山口駒込Ⅰ遺跡	宮古市	353	4/7 ～ 5/13 12/6 ～ 12/16	三陸沿岸道路建設事業	縄文	竪穴住居 1、土坑 21、柱穴 93
19	岩井沢遺跡	宮古市	6,500	4/8 ～ 8/31	宮古盛岡横断道路	縄文	竪穴住居 2、竪穴状遺構 1、炉 1、土坑 33、陥し穴 13
20	田鎖車堂前遺跡	宮古市	3,800	4/11 ～ 12/22	宮古西道路	縄文・弥生・古代	縄文：竪穴住居 11、土坑 42、遺物包含層 1、土器埋設遺構 2　弥生：竪穴住居 1、土坑 1　古代：竪穴住居 105、土坑 65　12 世紀：堀 2、掘立柱建物 2、溝 2、井戸 1　中世：掘立柱建物 1、暗渠 1
21	田鎖館跡	宮古市	13,500	4/8 ～ 10/4	宮古西道路	古代・中世	縄文：竪穴住居 1、土坑 13、焼土 1、遺物包含層 1　平安：竪穴住居 55、土坑 69　中世：柱穴 200、整地層 1、帯曲輪 1
22	浜川目沢田Ⅱ遺跡	山田町	13,500	4/5 ～ 11/11	主要地方道重茂半島線大沢～浜川目	縄文・古代	縄文：竪穴住居 20、土坑 133、炉 3、焼土遺構 2、柱穴 23 古代：住居状遺構 2、土坑 24、工房 7、炉 1、柱穴 5 時期不明：土坑 4、炭窯 3、焼土遺構 1、柱穴 45、道路状遺構 2、溝 3
23	田屋遺跡	大槌町	3,600	4/7 ～ 5/31 8/1 ～ 9/15	三陸沿岸道路建設事業	縄文	縄文時代：焼土遺構 2、遺物包含層 1 古代末～中世：炭窯 4
24	迫田Ⅰ遺跡	大槌町	2,600	8/1 ～ 10/21	三陸沿岸道路建設事業	縄文・古代	縄文：遺物包含層 2 古代：竪穴住居 4
25	挟田館跡	大槌町	2,994	10/3 ～ 12/12	三陸沿岸道路建設事業	中世	平場 9、犬走り 2、切岸 1
26	小白浜遺跡	釜石市	350	11/16 ～ 12/21	三陸沿岸道路建設事業	縄文	
27	世田米城跡	住田町	9,970	4/8 ～ 7/28	地域連携道路整備事業一般国道 340 号世田米	中世	腰曲輪及び平場 2、犬走り 2
28	長谷堂貝塚	大船渡市	950	6/9 ～ 12/16	市道猿石線道路改良事業	縄文	竪穴住居 22、土坑 22、石囲炉 14、焼土遺構 2、配石遺構 5、貝層 9、埋設土器 2、剥片集中遺構 1、柱穴状土坑 117、遺物包含層 1
29	岩洞湖Ⅰ遺跡	盛岡市	970	6/13 ～ 7/7	岩洞ダム貯水池護岸工事	縄文	旧河道 1
30	栃洞Ⅳ遺跡	遠野市	6,800	9/16 ～ 11/11	一般国道 283 号釜石花巻道路	縄文・古代	縄文：土坑 5、陥し穴 2　古代：竪穴住居 1
31	八幡沖遺跡	一関市	1,450	6/1 ～ 8/5	地域連携道路整備事業折壁地区室根バイパス	古代	中世：堀跡 3、犬走り 1、性格不明遺構 5 近現代：水路跡 1

北上市立博物館
マスコットキャラクター
龍頭様（りゅうず）

特集 埋蔵文化財を見に行こう!!

発掘調査で出土した遺物は、岩手県各地にある博物館や資料館で展示されています。数ある博物館の中から、今年度オープンした崎山貝塚縄文の森ミュージアムと、リニューアルオープンした北上市立博物館を紹介します。
発掘調査でわかったことが、どのように展示されているのでしょうか。

宮古市 崎山（さきやま）貝塚縄文の森ミュージアム

崎山貝塚の国の史跡指定からちょうど20年、平成28年7月16日に待望の崎山貝塚縄文の森ミュージアムが宮古市に開館しました。本館は博物館の機能のみならず埋蔵文化財センターや公民館、そして市役所の支所も併設された、まさに地域の拠点として活用できる複合施設となっています。

崎山貝塚縄文の森ミュージアム展示室

ミュージアム展示の中心を占める崎山貝塚は、縄文時代前期から後期にかけての貝塚と集落の遺跡で、多様な骨角器などが出土しています。

照明を抑えた幻想的な雰囲気の中、展示室でひときわ目立つのは貝塚から剥（は）ぎ取ってきた貝層の断面です。クジラと見まがうほどの幅約13ｍ×高さ約５ｍという圧巻の大きさ。これほどまでの貝層を形成した縄文人のパワーに驚き、さらに貝層をバックにして投影されるプロジェクションマッピングという現代の技術にも驚かされます。

沿岸部の大動脈である国道45号のすぐ隣りという立地条件にありながら、園路や竪穴住居などが整備された縄文の森公園に足を踏み入れると、そこには縄文の息吹が感じられる風景が広がっています。

縄文の森公園を自由に散策するもよし、弓矢体験・火おこし体験などで縄文人の気分を味わうもよし、はたまた展示室で先人たちの知恵にどっぷり浸るもよし。崎山貝塚縄文の森ミュージアムは世代を超えて楽しむことのできる施設です。

（宮古市教育委員会文化課　長谷川 真）

空からみた縄文の森公園と複合施設

崎山貝塚縄文の森ミュージアム
〒027-0097 宮古市崎山1-16-1　崎山貝塚縄文の森公園複合施設内
観覧料：一般200円、学生150円、高校生以下無料、団体割引あり
休館日：毎週月曜日（月曜が祝日の場合は翌平日）、年末年始
毎月月末（休館日の場合は、その前の平日。12月は28日）
お問合せ：電話（0193）65-7526

発掘調査で出土したばかりの遺物が見たい！

発掘調査で出土した遺物が博物館に展示されるのは、発掘調査報告書が発刊された後になることが多いため、早く見たい方には現地説明会や当センターで開催する遺跡報告会での展示見学をお勧めします。詳細は、HP等に掲載しますので次回のイベントをお楽しみに。

■今年度調査した大船渡市長谷堂貝塚出土遺物の速報

縄文時代中期後半の竪穴住居跡から出土した、軽石製品です。大きさは10㎝ほど。少しゆがんだ表情をした人面（右）と、マスコットのようにも見える人体？（左）が対照的です。素材の軽石は穴をあけて浮子に使うなど加工がしやすい石ですが、これは何か信仰の対象として作られたものでしょうか。

人面軽石製品（約４千年前）

（調査担当　（公財）岩手県埋蔵文化財センター　高木 晃）

北上市 北上市立博物館

北上市立博物館は、昭和48年の開館以来初となるリニューアルを行いました。市内には、500を超える遺跡が確認され、国指定史跡である樺山遺跡や八天遺跡、江釣子古墳群、国見山廃寺跡など稀少な遺構や遺物の数々を博物館では紹介しています。
リニューアルした北上市立博物館について、博物館長補佐の杉本良さんに、お話を伺いました。

－以前の展示室と展示の内容や見せ方などが大きく変わりましたね。
「以前の、北上川流域の歴史や自然といった通史的な展示内容から、郷土の歴史に絞り込み、特色ある遺跡や資料を軸に6部門に分けて構成しました。」
－国見山廃寺本堂を再現した空間作りが印象的ですが、こだわった部分はありますか。
「北上市内にある平安時代の仏像仏具や出土資料の展示と、発掘調査でわかったことを説明しています。平安時代の本堂で仏様を拝んでいるような気分になってもらえたらうれしいです。」
－北上市は、国指定史跡がこんなにあったんですね。
「そうなんです。たくさんの遺跡があり調査でわかったこと全てを展示したいところですが、スペースに限りがあるので、特色のあるこれらの遺跡を中心に展示し興味を持ってもらうきっかけにしたいと考えました。」

奈良・平安時代の赤彩土器

壁一面に展示された縄文土器

－遺物を見て当時の人々がどんな生活をしていたのか、興味が出てきました。
「ここで紹介しきれないものは、和賀分館に展示していますよ。北上の自然も学べますので、ぜひあわせて見てほしいです。」
－どのような企画を予定していますか。
「冬期間限定で開催中の講座は、おかげさまで定員を超えるほどの人気ぶりです。来年度は国見山廃寺の企画展を開催しますので、ぜひたくさんの方々に来て頂きたいです。」

博物館のイベントや職員の解説を上手に活用

「ここは北上の歴史を感じられるバーチャルな空間なんですよ。見るだけでなく色々感じてもらいたいので、気軽に声をかけてください。」と最後に話してくださった杉本さん。
取材の後、和賀分館も見学して来ました。北上の自然や地理と一緒に展示されている多くの遺物から、縄文人の生業を知り、樺山遺跡や八天遺跡で生活していた人々を想像することができました。「見る」だけでなく、埋蔵文化財を「考える」きっかけとなる場所。博物館のイベントや職員の解説を上手に活用してみませんか。

北上市立博物館
〒024-0043　北上市立花14-59（みちのく民俗村に隣接）
観覧料：一般500円、高校生240円、小中学生170円、未就学児は無料　団体割引あり
休館日：12月～3月の月曜日、年末年始（4月～11月は無休）
お問合せ：電話 (0197) 64-1756

北上市立博物館分館
〒024-0331　北上市和賀町横川目11-160（和賀庁舎1階）
観覧料：無料
休館日：本館と同じ　お問合せは本館へ

平成28年度に注目された遺跡

釜石市 泉沢屋敷遺跡（いずみさわやしき）

縄文時代ほか

泉沢屋敷遺跡は釜石市の恋の峠から東に延びる箱崎半島の付け根、標高約６～14ｍの丘陵裾部に立地しており、北側には大槌湾へ注ぐ鵜住居川の支流長内川（おさない）が流れています。

調査の結果、丘陵緩斜面において、約4,000～3,800年前の縄文時代中期末葉～後期初頭（大木10式～門前式期）の集落跡が見つかりました。竪穴住居跡は35棟、貯蔵穴や落とし穴などを含む土坑跡は41基見つかりました。特に竪穴住居跡の建築頻度は非常に高く、300㎡範囲内に35棟中28棟の住居跡が重複して見つかりました。各住居内には石で組んだ石囲炉や土器を埋設した埋設土器炉などが見られるほか、粘土を貼ってカルデラ状に成形した特徴的な炉も見つかっております。竪穴住居跡は概ね北西向きで日当たりが良好でない場所に立地しており、日差しを避けるには好立地であったと考えられます。

今回の調査により、三陸沿岸における縄文時代中期末葉～後期初頭にかけての生活の様相について貴重な知見を得ることができました。

（釜石市教育委員会　髙橋 岳）

粘土を貼って成形した炉跡

盛岡市 下永林遺跡（しもながばやし）

奈良～平安時代

下永林遺跡は盛岡市三本柳・津志田地区に所在し、雫石川・北上川右岸に広がる標高115ｍ前後の低位沖積段丘上に立地します。この付近には、昔数基の蝦夷（エミシ）の塚があったとの言い伝えがあり、昭和10年には耕作中に大量の礫とともに蕨手刀（わらびてとう）１振が出土し、古代の有力者達を埋葬した末期古墳の存在が推測されました。このため、大道西古墳とも呼ばれますが、これまでの調査では不明なままでした。

今回の調査は土地区画整理事業に伴う事前調査で、古代の末期古墳に伴う円形周溝３基が見つかりました。残念ながら墳丘（ふんきゅう）や遺体が埋葬された主体部（しゅたいぶ）は失われています。周溝規模は直径10ｍ前後，底面には構築土（こうちくど）を敷き詰め、開口部は南～南東にあります。周溝埋土から墳墓に供えた土師器（はじき）の坏（つき）・球胴甕（きゅうどうかめ）が出土し，上層には十和田ａ火山灰と考えられる灰白色火山灰が堆積します。出土遺物から構築時期は８世紀後葉～９世紀前葉が考えられます。今年度の調査は、蕨手刀の出土事例や昔からの伝承を裏付ける調査結果となり、今後の調査が期待されます。

（盛岡市教育委員会　花井 正香）

全体像がわかる RX502 円形周溝

平泉町 無量光院跡（むりょうこういん）

12世紀

無量光院（むりょうこういん）跡は12世紀に平泉を拠点とした奥州藤原氏三代秀衡（ひでひら）が建立した寺院跡です。今回敷地の北東側を区画している堀が２条見つかりました。堀は重複しており、短期間に造り替えが行われていた事が分かりました。

見つかった古い堀は幅７m、深さ２m程の大きさです。造られてからまもなく人工的に埋め戻されており、埋め土の下には地滑り防止のために枝や植物など敷いた粗朶（そだ）の跡がありました。古い堀を埋め立てた跡地に、幅２m、深さ70cmの新しい堀が造られました。古い堀とは異なり人工的に埋められた痕跡は無く、自然に埋まったようです。時期は12世紀と考えられます。

今回見つかった堀の造り替えは、北側に隣接する柳之御所遺跡の堀においても同様に造り替えが行われ、粗朶の痕跡もあることから、双方の堀が連動して構築・造り替えを行っている可能性も考えられます。今後周辺の調査を行い、双方の堀の時期変遷を確認していきながら調査を行っていく必要があります。

（平泉町教育委員会　島原 弘征）

見つかった新しい堀

二戸市 史跡九戸城跡

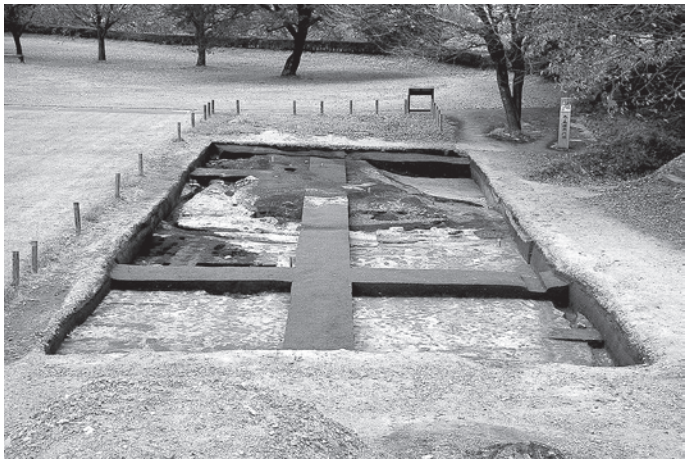
中世

史跡九戸城跡は馬淵川右岸の河岸段丘上に構築された城郭です。もともとは九戸政実の居城でしたが、天正19年（1591）の九戸一揆の際に落城し、その後に福岡城と改称して南部氏の本城となりました。発掘調査は環境整備に先立つ内容確認調査として、二の丸の大手、搦手（からめて）にある虎口（こぐち）部分を調査しました。虎口は城郭の出入り口で、九戸城本丸の追手、南虎口は落城後に桝形に改修されています。

調査の結果、大手からは、虎口の内部と思われる約４m×５m四方の固く締まった面が確認されました。また、搦手からは、虎口に伴う土塁が確認されました。土塁は削り出されて構築されており、幅が約6.25m以上、長さが約7.5m以上の規模で、同時期に搦手の虎口周辺は、白色の火山灰で造成されていました。

今回確認された、二ノ丸の大手、搦手の虎口の痕跡は、福岡城の頃と推定され、本丸と同じ時期に改修されていた可能性が高かったことを示しています。

（二戸市教育委員会　柴田 知二）



二ノ丸搦手調査の様子

平成28年度 イベントの報告

こんなことをやりました♪

夏休み！みんなで考古学者 2016

平成 28 年 7 月 27 日（水）と 28 日（木）の 2 日間、埋蔵文化財センターで考古学の仕事を楽しく体験できる夏休みの恒例イベントを開催しました。２日間で 706 名もの方々が来場されました。本物の土器や石器を見たり触れたりできて「たのしかったよ」という感想をたくさん頂きました。

来年度も、同じ頃に開催予定です。体験の種類も豊富で夏休みの自由研究にもおすすめです。

平成 28 年度　岩手県文化振興事業団プレゼンツ

第37回 埋蔵文化財展

平成 29 年 1 月 20 日（金）～ 22 日（日）の 3 日間、久慈市アンバーホールを会場に埋蔵文化財展を開催し、これまでに発掘調査が行われた久慈市内の遺跡から出土した埋蔵文化財を展示しました。遺跡を通じて、旧石器時代から中世の久慈の歴史や、今年度調査をした芦ヶ沢Ⅱ遺跡の速報展コーナーも設け、今後も新たに解明される久慈の歴史をご覧頂きました。

このイベントは、毎年県内の各市町村を巡回して開催していますので来年度もご期待ください。

埋蔵文化財や岩手の遺跡を知るきっかけに

埋蔵文化財公開講座・遺跡報告会

岩手県民会館で、平成 29 年 1 月 28 日（土）に開催した埋蔵文化財公開講座では、「実験考古学でわかる新しい先史世界」と題して、首都大学東京大学院教授の山田昌久先生に講演をして頂きました。

また、同時開催の遺跡報告会では、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行った今年度の発掘調査から、次の 6 遺跡を報告しました。

高根遺跡（宮古市）　縄文時代中期の貯蔵穴群
上代川遺跡（野田村）　弥生時代の集落と古代～中世の製鉄遺跡
田鎖車堂前遺跡（宮古市）　堀で囲まれた平泉期の居館
世田米城跡（住田町）　連なる腰曲輪で防備を固める
挟田館跡（大槌町）　大槌城と連携で防備を固める
千徳城遺跡群（宮古市）　戦国時代の城館跡

これらの催しは、来年度も同じ頃に開催する予定です。詳細が決まり次第、当センターのホームページや博物館等に掲示するポスターでご確認いただけます。

発　行　岩手県立埋蔵文化財センター
編　集　（公財）岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター
〒 020-0853　岩手県盛岡市下飯岡 11-185
電　話　019-638-9001
U R L　http://www.iwate-maibun.jp/
E-mail　i-maibun@echna.ne.jp
発行日　平成 29 年 2 月28日
印　刷　河北印刷株式会社